

長浜原沖南市営住宅 1 号棟屋上防水改修工事

図面番号	図面名称
A-01	改修特記仕様書 (1)
A-02	改修特記仕様書 (2)
A-03	改修特記仕様書 (3)
A-04	付近見取図・配置図兼仮設計画図
A-05	屋上平面図・防水改修詳細図
A-06	北・南立面図【参考図】
A-07	東・西立面図【参考図】
A-08	自転車置場詳細図【参考図】
A-09	自転車置場詳細図【参考図】

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																										
27 事業損失補償	※現場説明書による。	5 監督職員の備品等	備品等の設置 [2.4.1] <table border="1"> <tr><td>備品の種類</td><td>機・椅子</td><td>書棚</td><td>黒板</td><td>PC</td><td>掛時計</td></tr> <tr><td>数量</td><td>組</td><td>台</td><td>枚</td><td>台</td><td>個</td></tr> <tr><td>備品の種類</td><td>温度計</td><td>ゴム長靴</td><td>雨がっぱ</td><td>保護帽</td><td>懐中電灯</td></tr> <tr><td>数量</td><td>個</td><td>足</td><td>着</td><td>個</td><td>個</td></tr> <tr><td>備品の種類</td><td>衣類ロッカー</td><td>冷暖房機器</td><td>消火器</td><td>湯沸器</td><td>加入電話付機器</td></tr> <tr><td>数量</td><td>人用</td><td>台</td><td>個</td><td>台</td><td>台</td></tr> <tr><td>備品の種類</td><td>掃除具</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>数量</td><td>個</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	備品の種類	機・椅子	書棚	黒板	PC	掛時計	数量	組	台	枚	台	個	備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯	数量	個	足	着	個	個	備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消火器	湯沸器	加入電話付機器	数量	人用	台	個	台	台	備品の種類	掃除具					数量	個					絶縁工法のルーフィングの材料 [3.3.2] ・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類及び厚さ ※表3.3.3及び表3.3.4による ・砂付あなきルーフィング 押え金物の材質及び形状 ※図示 ・アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2]																																																											
備品の種類	機・椅子	書棚	黒板	PC	掛時計																																																																																																										
数量	組	台	枚	台	個																																																																																																										
備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯																																																																																																										
数量	個	足	着	個	個																																																																																																										
備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消火器	湯沸器	加入電話付機器																																																																																																										
数量	人用	台	個	台	台																																																																																																										
備品の種類	掃除具																																																																																																														
数量	個																																																																																																														
28 完成時の提出図書	・完成図(作成範囲・配置図・平面図・立面図・断面図・仕上表) [1.9.1][1.9.2] ・完成図(CADデータの提出 ※する(CD-R等)・しない) [1.9.3] ・保全に関する資料(提出部数 ※2部・部) 上記のほか、使用材料のメーカー名、品番、色(マンセル値等)をCADデータ等で監督職員に提出する。 また、工種別下請負者の一覧表を提出する。 ①施工図、施工計画書 [1.9.2] 提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。	6 工事用水・電力	構内既存の施設(用水) ①利用できる (※有償・無償) ※利用できない 構内既存の施設(電力) ①利用できる (※有償・無償) ※利用できない 構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a)～c)による。 a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。 b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。 c) 工事用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態等を確認し、既設負荷への波及がないようにする。 また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。 構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a)～c)に下記d)～e)を加える。 d) 工事用水は、既存設備に量水器を設けて、仮設配管を施し使用するものとする。 e) 工事用電力は、原則、既存設備に電力計を設けて、仮設配電盤を設置し、使用するものとする。 四国電力送配電網などの架空線に防護管の設置が必要な場合は、監督職員と協議する。	屋内防水 [3.3.3][表3.3.10] 防水層の種類 <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>保護層</th></tr> <tr><td>・P1E</td><td>・E-2</td><td></td><td>・設ける</td></tr> <tr><td>・P2E</td><td>※E-2</td><td></td><td>・設けない</td></tr> </table> E-1の場合で工程3を行う場合 ※貯水槽、浴槽等の常時水に接する部分 押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2] 平場の保護コンクリート ※80mm以上 [3.3.5] 床タイル張り等仕上げの場合 ※60mm以上 コンクリートの仕上の平坦さ ※a種 [3.3.5][表8.1.5] ※a種 ※b種 ※c種	工法	種別	施工箇所	保護層	・P1E	・E-2		・設ける	・P2E	※E-2		・設けない																																																																																															
工法	種別	施工箇所	保護層																																																																																																												
・P1E	・E-2		・設ける																																																																																																												
・P2E	※E-2		・設けない																																																																																																												
29 完成写真	下表のものを監督職員に提出する。 <table border="1"> <tr><th>位置</th><th>分類・規格</th><th>撮影枚数</th><th>部数</th><th>原画の大きさ(mm)</th></tr> <tr><td>・各室</td><td>手札版(L版)</td><td>※2枚・枚</td><td>※1部・部</td><td>・100×125以上</td></tr> <tr><td>・外部</td><td>キャビネ版</td><td>※4枚・枚</td><td>※1部・部</td><td>・24×36以上</td></tr> <tr><td>・外部</td><td>半切パネル(木製枠※アルミ枠)</td><td>※1枚・枚</td><td>※1部・部</td><td></td></tr> <tr><td>・</td><td>スライド</td><td>※1部・部</td><td></td><td></td></tr> </table> カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。 撮影箇所は監督職員と協議する。 上表のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等にて提出する。 画像形式等 フォーマット: JPEG 画質: 標準 画像サイズ: 1024×768ピクセル程度	位置	分類・規格	撮影枚数	部数	原画の大きさ(mm)	・各室	手札版(L版)	※2枚・枚	※1部・部	・100×125以上	・外部	キャビネ版	※4枚・枚	※1部・部	・24×36以上	・外部	半切パネル(木製枠※アルミ枠)	※1枚・枚	※1部・部		・	スライド	※1部・部			7 仮囲い	※図示 [2.5.1]	改質アスファルトシート防水 [3.4.2][表3.4.1～表3.4.3] 防水層の種類 <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材</th><th>仕上塗料</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・M4AS</td><td>・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2</td><td></td><td></td><td>・高日射反射率塗料の適用</td><td>※製造所の指定による</td></tr> <tr><td>・M3AS ・POAS</td><td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3</td><td></td><td></td><td>・高日射反射率塗料の適用</td><td>※製造所の指定による 改修用ドレン・設ける・設けない</td></tr> <tr><td>・M3ASI ・M4ASI ・POASI</td><td>・ASI-T1 ・ASI-J1</td><td></td><td>JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材 2種1号又は2号 厚さ: mm ※図示</td><td>・高日射反射率塗料の適用</td><td>※製造所の指定による 改修用ドレン・設ける・設けない 防湿層・設ける・設けない</td></tr> </table> 露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・行う ・行わない [3.2.6] 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※表3.4.1から表3.4.3による [3.4.2] 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※表3.4.1から表3.4.3による [3.4.2] 押え金物の材質及び形状 ※図示 ・アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.4.2] 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の指定とする [3.4.3]	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	備考	・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による	・M3AS ・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による 改修用ドレン・設ける・設けない	・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1 ・ASI-J1		JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材 2種1号又は2号 厚さ: mm ※図示	・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による 改修用ドレン・設ける・設けない 防湿層・設ける・設けない																																																										
位置	分類・規格	撮影枚数	部数	原画の大きさ(mm)																																																																																																											
・各室	手札版(L版)	※2枚・枚	※1部・部	・100×125以上																																																																																																											
・外部	キャビネ版	※4枚・枚	※1部・部	・24×36以上																																																																																																											
・外部	半切パネル(木製枠※アルミ枠)	※1枚・枚	※1部・部																																																																																																												
・	スライド	※1部・部																																																																																																													
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	備考																																																																																																										
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による																																																																																																										
・M3AS ・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による 改修用ドレン・設ける・設けない																																																																																																										
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1 ・ASI-J1		JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材 2種1号又は2号 厚さ: mm ※図示	・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による 改修用ドレン・設ける・設けない 防湿層・設ける・設けない																																																																																																										
30 別途設備工事との取合い	施工範囲 ・貫通孔、開口部の補強 ※下表・図示 ・壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※下表・図示 ・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強	8 仮設物撤去後の整地・跡片付け	※図示 [2.5.1]	合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.5.2][表3.5.1～表3.5.2] <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>厚さ(mm)</th><th>仕上塗料</th><th>高日射反射率塗料の適用</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・POS</td><td>・S-F1</td><td></td><td>※1.2</td><td>※製造所の仕様による</td><td>・</td><td>改修用ドレン・設ける・設けない</td></tr> <tr><td>・S4S</td><td>・S-F2</td><td></td><td>※2.0 ・1.5</td><td>※製造所の仕様による</td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td></td><td>・S-M1</td><td></td><td>※1.5</td><td>※製造所の仕様による</td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td></td><td>・S-M2</td><td></td><td>※1.5</td><td>※製造所の仕様による</td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・S3S</td><td>・S-F1</td><td></td><td>※1.2</td><td>※製造所の仕様による</td><td>・</td><td>改修用ドレン・設ける・設けない</td></tr> <tr><td></td><td>・S-F2</td><td></td><td>※2.0 ・1.5</td><td>※製造所の仕様による</td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・M4S</td><td>・S-M1</td><td></td><td>※1.5</td><td>※製造所の仕様による</td><td>・</td><td>改修用ドレン・設ける・設けない</td></tr> <tr><td></td><td>・S-M2</td><td></td><td>※1.5</td><td>※製造所の仕様による</td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・POSI</td><td>・SI-F1</td><td></td><td>※1.2</td><td>※製造所の仕様による</td><td>・</td><td>改修用ドレン・設ける・設けない</td></tr> <tr><td>・S3SI</td><td>・SI-P2</td><td></td><td>※2.0 ・1.5</td><td>※製造所の仕様による</td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・S4SI</td><td>・SI-M1</td><td></td><td>※1.5</td><td>※製造所の仕様による</td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>○M4SI</td><td>・SI-M2</td><td>図示</td><td>※1.5</td><td>※製造所の仕様による</td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・P1S</td><td>・S-C1</td><td></td><td>※1.0</td><td></td><td></td><td>立上り保護モルタルの塗厚・図示・7mm</td></tr> </table> 断熱工法に用いる断熱材(SI-F1, SI-F2, SI-M1, SI-M2の場合) [3.5.2] <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>材料</th><th>厚さ</th></tr> <tr><td>機械的固定工法</td><td>JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ※国土交通省策定の新省エネ基準における屋根で規定される熱伝導抵抗値を満たす材料(熱抵抗値: 0.9㎡・K/W)</td><td>・30程度 ・図示</td></tr> <tr><td>接着工法</td><td>JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号</td><td>・図示</td></tr> </table> S-M2及びSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ 工法: ※図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械固定工法(厚さ mm) 立上り部等の防水層撤去 ・行う ○行わない [表3.1.1] 立上り部等の保護層撤去 ・行う ○行わない POS工法及びPOSI工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)(g)による [3.5.2] 固定金具の材質及び形状 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ(mm) ※0.4以上 S-M1及びSI-M2の絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート [3.5.2] 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の仕様による(SUS製) [3.5.3] SI-M1及びSI-M2の防湿用フィルムの設置 ※設けない ・設ける [表3.5.2] プレキャストコンクリート下地の目地処理(接着工法の場合) ・行う(・図示) ・行わない [3.5.4] S-F1及びPSI-F1のプレキャストコンクリート下地の入隅部増張り ・行う(・図示) ・行わない [3.5.4] 一般部のルーフィングシートの張付けで機械的固定工法の場合 建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法	工法	種別	施工箇所	厚さ(mm)	仕上塗料	高日射反射率塗料の適用	備考	・POS	・S-F1		※1.2	※製造所の仕様による	・	改修用ドレン・設ける・設けない	・S4S	・S-F2		※2.0 ・1.5	※製造所の仕様による	・	・		・S-M1		※1.5	※製造所の仕様による	・	・		・S-M2		※1.5	※製造所の仕様による	・	・	・S3S	・S-F1		※1.2	※製造所の仕様による	・	改修用ドレン・設ける・設けない		・S-F2		※2.0 ・1.5	※製造所の仕様による	・	・	・M4S	・S-M1		※1.5	※製造所の仕様による	・	改修用ドレン・設ける・設けない		・S-M2		※1.5	※製造所の仕様による	・	・	・POSI	・SI-F1		※1.2	※製造所の仕様による	・	改修用ドレン・設ける・設けない	・S3SI	・SI-P2		※2.0 ・1.5	※製造所の仕様による	・	・	・S4SI	・SI-M1		※1.5	※製造所の仕様による	・	・	○M4SI	・SI-M2	図示	※1.5	※製造所の仕様による	・	・	・P1S	・S-C1		※1.0			立上り保護モルタルの塗厚・図示・7mm	工法	材料	厚さ	機械的固定工法	JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ※国土交通省策定の新省エネ基準における屋根で規定される熱伝導抵抗値を満たす材料(熱抵抗値: 0.9㎡・K/W)	・30程度 ・図示	接着工法	JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号	・図示
工法	種別	施工箇所	厚さ(mm)	仕上塗料	高日射反射率塗料の適用	備考																																																																																																									
・POS	・S-F1		※1.2	※製造所の仕様による	・	改修用ドレン・設ける・設けない																																																																																																									
・S4S	・S-F2		※2.0 ・1.5	※製造所の仕様による	・	・																																																																																																									
	・S-M1		※1.5	※製造所の仕様による	・	・																																																																																																									
	・S-M2		※1.5	※製造所の仕様による	・	・																																																																																																									
・S3S	・S-F1		※1.2	※製造所の仕様による	・	改修用ドレン・設ける・設けない																																																																																																									
	・S-F2		※2.0 ・1.5	※製造所の仕様による	・	・																																																																																																									
・M4S	・S-M1		※1.5	※製造所の仕様による	・	改修用ドレン・設ける・設けない																																																																																																									
	・S-M2		※1.5	※製造所の仕様による	・	・																																																																																																									
・POSI	・SI-F1		※1.2	※製造所の仕様による	・	改修用ドレン・設ける・設けない																																																																																																									
・S3SI	・SI-P2		※2.0 ・1.5	※製造所の仕様による	・	・																																																																																																									
・S4SI	・SI-M1		※1.5	※製造所の仕様による	・	・																																																																																																									
○M4SI	・SI-M2	図示	※1.5	※製造所の仕様による	・	・																																																																																																									
・P1S	・S-C1		※1.0			立上り保護モルタルの塗厚・図示・7mm																																																																																																									
工法	材料	厚さ																																																																																																													
機械的固定工法	JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ※国土交通省策定の新省エネ基準における屋根で規定される熱伝導抵抗値を満たす材料(熱抵抗値: 0.9㎡・K/W)	・30程度 ・図示																																																																																																													
接着工法	JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号	・図示																																																																																																													
31 撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。	9 防水改修工事	1 降雨等に対する養生方法 [3.1.3] 2 既存下地の処理 [3.2.6] 既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ※図示 設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部等の納まり部の処理 ※図示(図示のない場合は監督職員と協議による) ・製造所の仕様による	4 改質アスファルトシート防水	屋根保護防水 [3.3.2][3.3.5][表3.3.3～表3.3.6] 防水層の種類 <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材の厚さ</th><th>絶縁用シート</th><th>立上り部の保護</th></tr> <tr><td>・P2A</td><td>・A-1 ※A-2 ・A-3</td><td></td><td></td><td>※ポリアレソレン/PPA 厚さ0.15mm以上 ・フラットロック (70g/㎡程度)</td><td>・</td></tr> <tr><td>・P1B</td><td>・B-1 ※B-2</td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・P2AI</td><td>・AI-1 ※AI-2 ・AI-3</td><td></td><td>厚さ: mm ・図示</td><td>※フラットロック (70g/㎡程度)</td><td>・</td></tr> <tr><td>・P1BI</td><td>・BI-1 ※BI-2</td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td></tr> </table> 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ [3.3.2] ※表3.3.5及び表3.3.6による 絶縁工法のルーフィングの材料 [3.3.2] ・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類及び厚さ ※表3.3.3及び表3.3.4による ・砂付あなきルーフィング 押え金物の材質及び形状 ※図示 ・アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2]	工法	種別	施工箇所	断熱材の厚さ	絶縁用シート	立上り部の保護	・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3			※ポリアレソレン/PPA 厚さ0.15mm以上 ・フラットロック (70g/㎡程度)	・	・P1B	・B-1 ※B-2			・	・	・P2AI	・AI-1 ※AI-2 ・AI-3		厚さ: mm ・図示	※フラットロック (70g/㎡程度)	・	・P1BI	・BI-1 ※BI-2			・	・																																																																												
工法	種別	施工箇所	断熱材の厚さ	絶縁用シート	立上り部の保護																																																																																																										
・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3			※ポリアレソレン/PPA 厚さ0.15mm以上 ・フラットロック (70g/㎡程度)	・																																																																																																										
・P1B	・B-1 ※B-2			・	・																																																																																																										
・P2AI	・AI-1 ※AI-2 ・AI-3		厚さ: mm ・図示	※フラットロック (70g/㎡程度)	・																																																																																																										
・P1BI	・BI-1 ※BI-2			・	・																																																																																																										
32 不当要求等への対応	暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次による。 a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。 d) 受注者が、不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。	3 アスファルト防水	屋根保護防水 [3.3.2][3.3.5][表3.3.3～表3.3.6] 防水層の種類 <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材の厚さ</th><th>絶縁用シート</th><th>立上り部の保護</th></tr> <tr><td>・P2A</td><td>・A-1 ※A-2 ・A-3</td><td></td><td></td><td>※ポリアレソレン/PPA 厚さ0.15mm以上 ・フラットロック (70g/㎡程度)</td><td>・</td></tr> <tr><td>・P1B</td><td>・B-1 ※B-2</td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・P2AI</td><td>・AI-1 ※AI-2 ・AI-3</td><td></td><td>厚さ: mm ・図示</td><td>※フラットロック (70g/㎡程度)</td><td>・</td></tr> <tr><td>・P1BI</td><td>・BI-1 ※BI-2</td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td></tr> </table> 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ [3.3.2] ※表3.3.5及び表3.3.6による 絶縁工法のルーフィングの材料 [3.3.2] ・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類及び厚さ ※表3.3.3及び表3.3.4による ・砂付あなきルーフィング 押え金物の材質及び形状 ※図示 ・アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2]	工法	種別	施工箇所	断熱材の厚さ	絶縁用シート	立上り部の保護	・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3			※ポリアレソレン/PPA 厚さ0.15mm以上 ・フラットロック (70g/㎡程度)	・	・P1B	・B-1 ※B-2			・	・	・P2AI	・AI-1 ※AI-2 ・AI-3		厚さ: mm ・図示	※フラットロック (70g/㎡程度)	・	・P1BI	・BI-1 ※BI-2			・	・																																																																														
工法	種別	施工箇所	断熱材の厚さ	絶縁用シート	立上り部の保護																																																																																																										
・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3			※ポリアレソレン/PPA 厚さ0.15mm以上 ・フラットロック (70g/㎡程度)	・																																																																																																										
・P1B	・B-1 ※B-2			・	・																																																																																																										
・P2AI	・AI-1 ※AI-2 ・AI-3		厚さ: mm ・図示	※フラットロック (70g/㎡程度)	・																																																																																																										
・P1BI	・BI-1 ※BI-2			・	・																																																																																																										
33 消防計画	工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事中の部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。	10 仮設工事(改修)	1 足場その他 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 内部足場 ※きやつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※図示 ・防護シート ○メッシュシート ・防音シート ・防音パネル 材料、撤去材の運搬方法 ・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ○E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示)	5 合成高分子系ルーフィングシート防水	脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の指定とする [3.4.3]																																																																																																										
34 工事特性等	受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。	2 養生 [2.3.1] ○既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 [2.3.1] ○既存家具、既存設備等の養生 ※ビニルシート等 ・既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※図示 ・固定された備品等の移動 ※図示 ・開口部養生 ※窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。	3 仮設間仕切り(屋内) [2.3.2][表2.3.1] 設置箇所 ※図示 間仕切り種別 ・A種 ・B種 ※C種 A種、B種の場合 仕上げの材質 ※せっこうボード 厚さ9.5mm ・合板(普通合板) 厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ・行う ※行わない 仮設扉設置箇所 ※図示 仮設扉種別 ・合板張り木製扉程度 ・図示	6 仮設工事(改修)	2 養生 [2.3.1] ○既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 [2.3.1] ○既存家具、既存設備等の養生 ※ビニルシート等 ・既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※図示 ・固定された備品等の移動 ※図示 ・開口部養生 ※窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。																																																																																																										
4 監督職員事務所	・設ける (㎡程度) ※設けない	3 仮設間仕切り(屋内) [2.3.2][表2.3.1] 設置箇所 ※図示 間仕切り種別 ・A種 ・B種 ※C種 A種、B種の場合 仕上げの材質 ※せっこうボード 厚さ9.5mm ・合板(普通合板) 厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ・行う ※行わない 仮設扉設置箇所 ※図示 仮設扉種別 ・合板張り木製扉程度 ・図示	4 監督職員事務所	3 仮設間仕切り(屋内) [2.3.2][表2.3.1] 設置箇所 ※図示 間仕切り種別 ・A種 ・B種 ※C種 A種、B種の場合 仕上げの材質 ※せっこうボード 厚さ9.5mm ・合板(普通合板) 厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ・行う ※行わない 仮設扉設置箇所 ※図示 仮設扉種別 ・合板張り木製扉程度 ・図示	4 監督職員事務所	・設ける (㎡程度) ※設けない																																																																																																									

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
長浜原沖南市営住宅1号棟屋上防水改修工事	大	岡	濱	松	A-02
図面名	改修特記仕様書(2)				縮尺
	1/				作図年月日

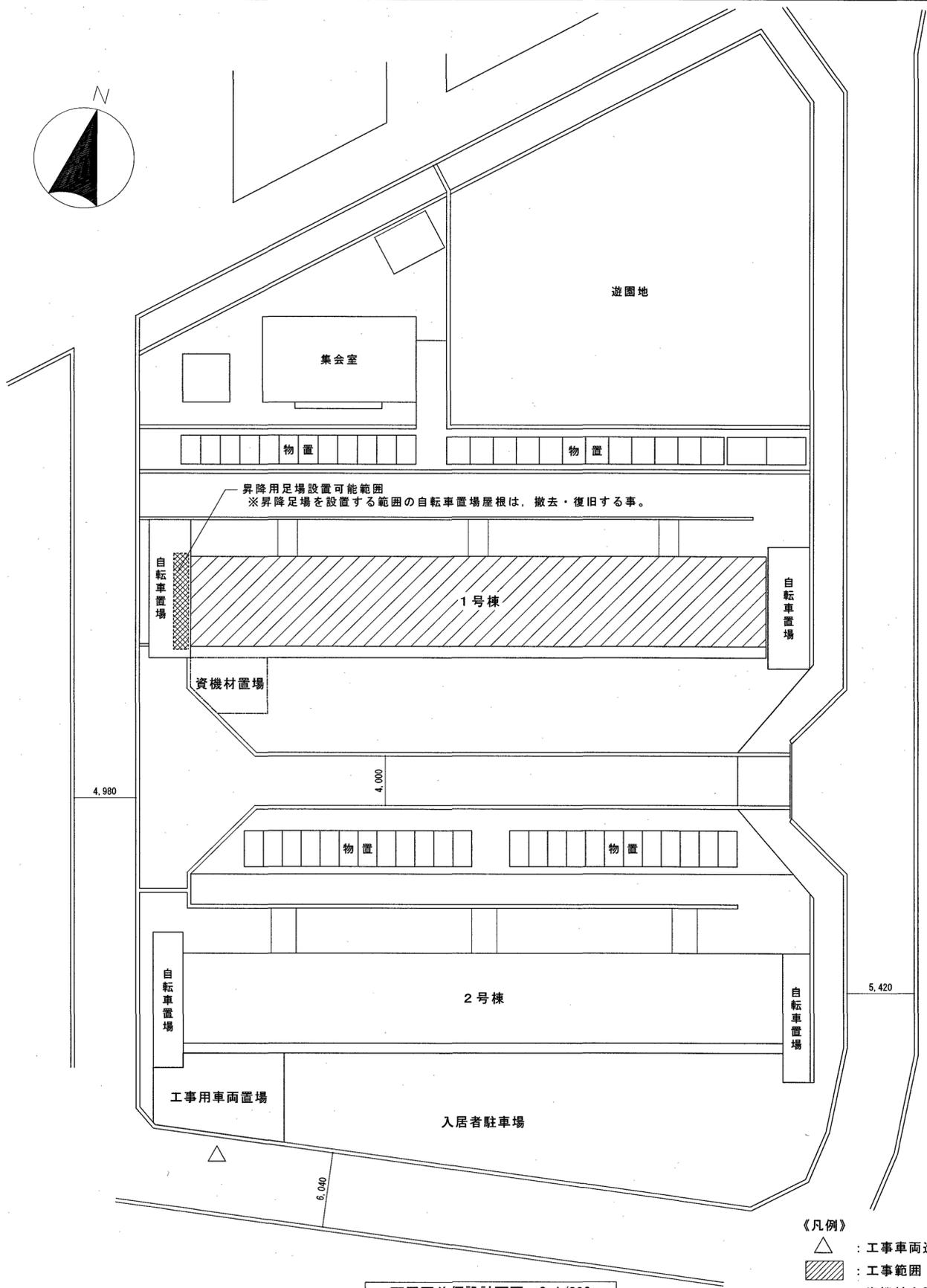
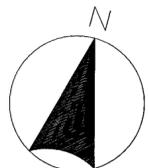
項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																									
⑥ 塗膜防水	<p>防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1~表3.6.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料の種類</th> <th>使用量</th> <th>高日射反射率塗料の適用</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・X-1 ・X-1H ○X-2 ・X-2H ※Y-2</td> <td>図示</td> <td>※2成分形アクリル樹脂系 ・ふっ素樹脂系 ・7フリシリコン樹脂系</td> <td>※製造所の仕様による</td> <td></td> <td>改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>保護層 ・設ける ・設けない</td> </tr> </table> <p>絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様による [3.6.3] ウレタン防水材 ※化学物質MOCAを含有しないもの</p>	種別	施工箇所	仕上塗料の種類	使用量	高日射反射率塗料の適用	備考	・X-1 ・X-1H ○X-2 ・X-2H ※Y-2	図示	※2成分形アクリル樹脂系 ・ふっ素樹脂系 ・7フリシリコン樹脂系	※製造所の仕様による		改修用ドレン ・設ける ・設けない						保護層 ・設ける ・設けない	石綿含有建材の除去及び処理	<p>① 石綿粉じん濃度測定</p> <p>・ 行う ○ 行わない <6.1.3></p> <table border="1"> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定名称</th> <th>測定点</th> </tr> <tr> <td>・ 処理作業前</td> <td>・ 処理作業室内 ・ 施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>測定1</td> <td>※ 2点 ・ 3点</td> </tr> <tr> <td>※ 処理作業中</td> <td>・ 処理作業室内 ・ セキュリティーゾーン入口 ※ 集じん、排気装置の排出口 (処理作業室の場合)</td> <td>測定2 測定3 測定4 測定5</td> <td>※ 2点 ※ 1点 ※ 1点</td> </tr> <tr> <td>※ 処理作業後 (隔壁シート撤去前)</td> <td>※ 施工区画周辺又は敷地境界 ※ 処理作業室内 ・ 施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>測定6 測定7 測定8</td> <td>※ 4方向 各1点 ※ 2点以上 ※ 4方向 各1点</td> </tr> </table> <p>測定方法 ・ JIS K3850-1に基づいた測定 (測定4・測定5・測定6・測定7・測定8) ・ 自動測定器による測定 (測定4・測定5)</p>	測定時期	測定場所	測定名称	測定点	・ 処理作業前	・ 処理作業室内 ・ 施工区画周辺又は敷地境界	測定1	※ 2点 ・ 3点	※ 処理作業中	・ 処理作業室内 ・ セキュリティーゾーン入口 ※ 集じん、排気装置の排出口 (処理作業室の場合)	測定2 測定3 測定4 測定5	※ 2点 ※ 1点 ※ 1点	※ 処理作業後 (隔壁シート撤去前)	※ 施工区画周辺又は敷地境界 ※ 処理作業室内 ・ 施工区画周辺又は敷地境界	測定6 測定7 測定8	※ 4方向 各1点 ※ 2点以上 ※ 4方向 各1点									
種別	施工箇所	仕上塗料の種類	使用量	高日射反射率塗料の適用	備考																																									
・X-1 ・X-1H ○X-2 ・X-2H ※Y-2	図示	※2成分形アクリル樹脂系 ・ふっ素樹脂系 ・7フリシリコン樹脂系	※製造所の仕様による		改修用ドレン ・設ける ・設けない																																									
					保護層 ・設ける ・設けない																																									
測定時期	測定場所	測定名称	測定点																																											
・ 処理作業前	・ 処理作業室内 ・ 施工区画周辺又は敷地境界	測定1	※ 2点 ・ 3点																																											
※ 処理作業中	・ 処理作業室内 ・ セキュリティーゾーン入口 ※ 集じん、排気装置の排出口 (処理作業室の場合)	測定2 測定3 測定4 測定5	※ 2点 ※ 1点 ※ 1点																																											
※ 処理作業後 (隔壁シート撤去前)	※ 施工区画周辺又は敷地境界 ※ 処理作業室内 ・ 施工区画周辺又は敷地境界	測定6 測定7 測定8	※ 4方向 各1点 ※ 2点以上 ※ 4方向 各1点																																											
7 FRP防水	<p>ガラスマット ・ 1層タイプ ・ 2層タイプ 表面の仕上げ ・ 平滑 押え金物の材質 ※アルミニウム 押え金物の寸法 ※図示</p>	② 石綿含有建材の除去等	<p>除去等 <6.3.2><6.4.2~5><6.5.2></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>使用材料</th> <th>除去工法</th> <th>区画</th> <th>除去材の飛散防止</th> </tr> <tr> <td>・ 石綿含有吹付材</td> <td></td> <td>※ 湿潤化の後に除去</td> <td><6.3.1>による</td> <td>※ 湿潤化 ・ 固化</td> </tr> <tr> <td>・ 石綿含有保温材等</td> <td></td> <td>※ 破壊して除去<6.3.1>~<6.3.4>による</td> <td><6.4.1(イ)>による</td> <td>※ 湿潤化 ・ 固化</td> </tr> <tr> <td>○ 石綿含有成形板</td> <td>○ 波形スレート板</td> <td>※ 原形のまま手ばらし<6.4.2>~<6.4.4>による</td> <td><6.4.1(イ)>による ・ 行う <6.4.1(イ)>による ※ 行わない</td> <td><6.5.3(イ)>による</td> </tr> </table> <p>処分方法 <6.3.3><6.4.3><6.5.3> ※ 管理型・安定型を確認の上、廃棄物処理法による許可を受けた施設で適切に処理すること ・ <6.3.3(エ)・(ハ)>による</p> <p>除去方法 <6.6.1~5> ※ 「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」による工法の内、飛散防止に関し隔離措置と同等と判断できる工法</p> <p>処分方法 <6.6.4> ※ 管理型・安定型を確認の上、廃棄物処理法による許可を受けた施設で適切に処理すること 除去範囲 ※ 図示 試験施工 ※ 行わない ・ 行う</p>	種類	使用材料	除去工法	区画	除去材の飛散防止	・ 石綿含有吹付材		※ 湿潤化の後に除去	<6.3.1>による	※ 湿潤化 ・ 固化	・ 石綿含有保温材等		※ 破壊して除去<6.3.1>~<6.3.4>による	<6.4.1(イ)>による	※ 湿潤化 ・ 固化	○ 石綿含有成形板	○ 波形スレート板	※ 原形のまま手ばらし<6.4.2>~<6.4.4>による	<6.4.1(イ)>による ・ 行う <6.4.1(イ)>による ※ 行わない	<6.5.3(イ)>による																							
種類	使用材料	除去工法	区画	除去材の飛散防止																																										
・ 石綿含有吹付材		※ 湿潤化の後に除去	<6.3.1>による	※ 湿潤化 ・ 固化																																										
・ 石綿含有保温材等		※ 破壊して除去<6.3.1>~<6.3.4>による	<6.4.1(イ)>による	※ 湿潤化 ・ 固化																																										
○ 石綿含有成形板	○ 波形スレート板	※ 原形のまま手ばらし<6.4.2>~<6.4.4>による	<6.4.1(イ)>による ・ 行う <6.4.1(イ)>による ※ 行わない	<6.5.3(イ)>による																																										
⑧ シーリング	<p>シーリング改修工法の種類 ・ シーリング充填工法 ○ シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法 ・ ボンドプレーカー張り ・ エッジング材張り</p> <p>シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.4][3.7.4~3.7.7][表3.1.2] ※ 下表による (下表以外は表3.7.1による)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類(記号)</th> <th>主成分による区分</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ SR-1</td> <td>シリコン系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SR-2</td> <td>シリコン系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ MS-2</td> <td>変成シリコン系</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>・ PS-2</td> <td>ポリサルファイド系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ PU-2</td> <td>ポリウレタン系</td> <td></td> </tr> </table> <p>仕上げを行わない箇所 () [表3.7.1]</p> <p>シーリング材の目地寸法 [3.7.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>箇所</th> <th>打継ぎ/ひび割れ誘発目地</th> <th>ガラス回りの目地</th> <th>左記以外の目地</th> </tr> <tr> <td>幅(mm)</td> <td>※ 20以上</td> <td>※ 幅及び深さ5以上[5.13]</td> <td>※ 10以上</td> </tr> <tr> <td>深さ(mm)</td> <td>※ 10以上</td> <td>.3)による場合を除く)</td> <td>※ 10以上</td> </tr> </table> <p>接着性試験 [3.7.8] ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験</p> <p>材料 [3.8.2][表3.8.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</td> <td></td> <td>※ たてどい</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ポリ塩化ビニル管カラー(カラーVP)</td> <td></td> <td>※ たてどい</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質塩化ビニル雨どい</td> <td></td> <td>※ 軒どい ・ たてどい</td> </tr> </table> <p>とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔 [3.8.2] 材種: ※ ステンレス製 ・ 溶融亜鉛めっき その他: ※ 表3.8.2による 防露材のホルムアルデヒド放出量 ※ F☆☆☆☆ 既存のといその他の撤去 ※ 図示 降雨等に対する養生方法 ※ 監督職員と協議による ・ 図示 鋼管製といの防露巻き ・ 表3.8.4による たてどい受金物の取付け ・ 図示 ルーフトレンの取付け ・ 木はげがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する。</p>	種類(記号)	主成分による区分	施工箇所	・ SR-1	シリコン系		・ SR-2	シリコン系		○ MS-2	変成シリコン系	図示	・ PS-2	ポリサルファイド系		・ PU-2	ポリウレタン系		箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地	幅(mm)	※ 20以上	※ 幅及び深さ5以上[5.13]	※ 10以上	深さ(mm)	※ 10以上	.3)による場合を除く)	※ 10以上	材種	寸法	施工箇所	・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)		※ たてどい	・ 硬質ポリ塩化ビニル管カラー(カラーVP)		※ たてどい	・ 硬質塩化ビニル雨どい		※ 軒どい ・ たてどい	③ 石綿含有仕上塗料の除去等		
種類(記号)	主成分による区分	施工箇所																																												
・ SR-1	シリコン系																																													
・ SR-2	シリコン系																																													
○ MS-2	変成シリコン系	図示																																												
・ PS-2	ポリサルファイド系																																													
・ PU-2	ポリウレタン系																																													
箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地																																											
幅(mm)	※ 20以上	※ 幅及び深さ5以上[5.13]	※ 10以上																																											
深さ(mm)	※ 10以上	.3)による場合を除く)	※ 10以上																																											
材種	寸法	施工箇所																																												
・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)		※ たてどい																																												
・ 硬質ポリ塩化ビニル管カラー(カラーVP)		※ たてどい																																												
・ 硬質塩化ビニル雨どい		※ 軒どい ・ たてどい																																												
9 とい																																														
10 アルミニウム製笠木	<p>種類 [3.9.2][表3.9.1] ・ オープン形式 (・ 押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形) ・ 板材折曲げ形 (・ オープン形式 ・ シール形式) 本体幅 () mm 板厚 (※ 2.0) mm 表面処理 種別 表5.2.2による () 種 色合い等 ※ 標準色 既存の笠木等の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示) ・ 行わない ・ 一時取外し再取付け [3.9.3] 新規アルミニウム製笠木の下の補修工法 ※ 図示 板材折曲げ形笠木の取付方法 ※ 図示 笠木の固定金具の固定工法 建築基準法に基づく風圧力の (※ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>受注者、施工者、材料製造所連名による 10年保証 (完成届提出日より15日後から)</p>																																													
⑪ 保証書 (シーリング除く)																																														
12 高日射反射率塗料塗リ	JIS K 5675 (屋根用高日射反射率塗料) に適合するもの、または、グリーン購入法の高日射反射率防水に適合する保護塗料とする。																																													



付近見取図

市長浜市民会館

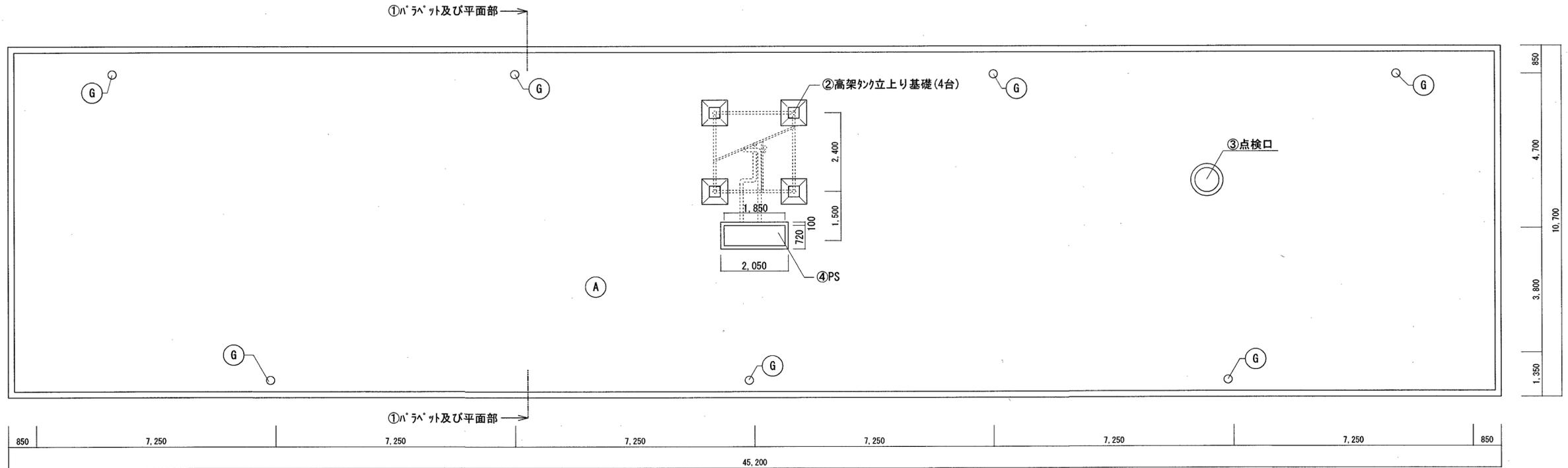
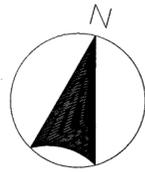
工事場所：長浜原沖南市営住宅



配置図兼仮設計画図 S=1/300

- 《凡例》
- △ : 工事車両進入口
 - ▨ : 工事範囲
 - : 資機材を置く場合は、その周囲をガードフェンス H=1,800程度で囲うこと。

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名		係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		長浜原沖南市営住宅 1号棟屋上防水改修工事		鈴木	菅野	濱口	松本	A-04
図面名		付近見取図・配置図兼仮設計画図	縮尺	S=1/300	作図	年	月	日



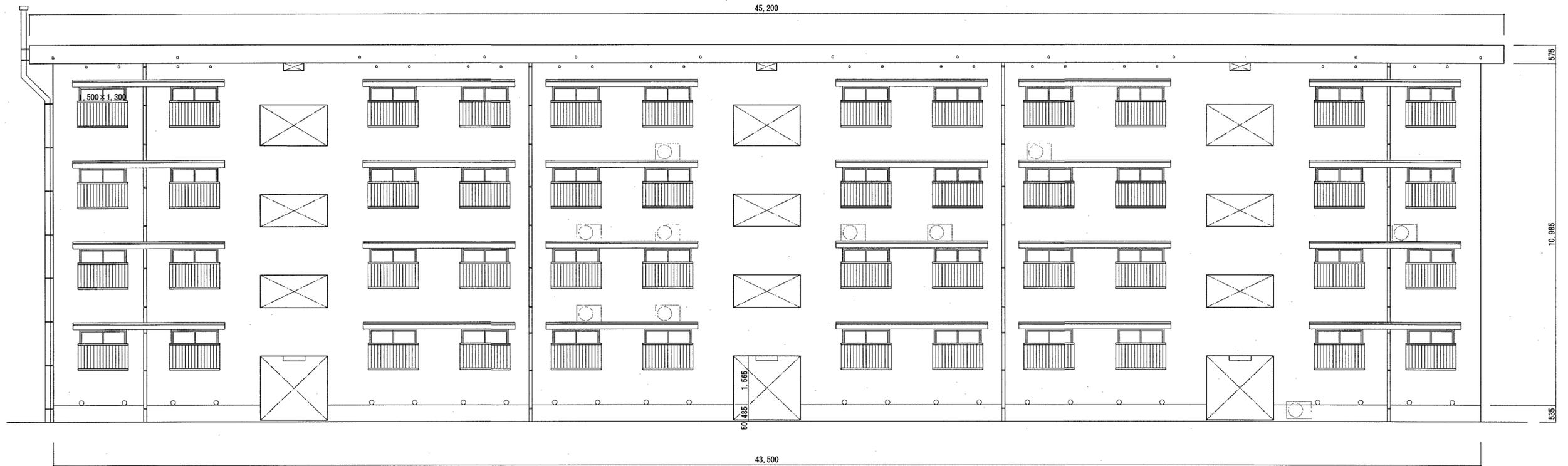
屋上平面図 S=1/100

①改修前 ハバラット部及び平面部	①改修後 ハバラット部及び平面部	②高架列基礎断面詳細図	②高架列基礎平面詳細図																												
<p>既存防水押え金物 (L-65×45) シ-ム材共【撤去】</p> <p>30程度</p>	<p>固定金具 水切り一体タイプ【新設】</p> <p>断熱材を表す</p>	<p>既存防水押え金物 (L-40×10)【撤去】</p> <p>7mm水切り【新設】</p> <p>断熱材を表す</p>	<p>断熱材を表す</p>																												
<p>点検蓋【既存のまま】</p> <p>既存防水押え金物 (L-40×10)【撤去】</p> <p>30程度</p>	<p>既存防水押え金物 (L-40×10)【撤去】</p> <p>7mm水切り【新設】</p> <p>断熱材を表す</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>場所</th> <th>現況</th> <th>改修後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(A)</td> <td>平場</td> <td>ゴムアスファルト防水 シ-ム材-塗装仕上げ</td> <td>【既存のまま】 平場 合成高分子系μ-フィンクシート防水断熱工法 機械的固定工法 $t=1.5$ (非歩行)</td> </tr> <tr> <td>(B)</td> <td>ハバラット部 天端・立上り</td> <td>ゴムアスファルト防水 シ-ム材-塗装仕上げ</td> <td>【既存のまま】 ハバラット部 天端・立上り 合成高分子系μ-フィンクシート防水断熱工法 機械的固定工法 $t=1.5$</td> </tr> <tr> <td>(C)</td> <td>点検蓋 高架列・PS</td> <td>FRP防水</td> <td>【撤去】 点検蓋 高架列・PS 水洗い後、下地処理 (ボリマーセメントペースト塗り) のうえ、 塗膜防水 (X-2)</td> </tr> <tr> <td>(D)</td> <td>高架列架台 足下鉄骨プレート</td> <td>錆止め塗装</td> <td>【既存のまま】 高架列架台 足下鉄骨プレート</td> </tr> <tr> <td>(E)</td> <td>シーリング</td> <td>シーリング (MS-2) 15×10</td> <td>【撤去】 シーリング シーリング (MS-2) 15×10</td> </tr> <tr> <td>(G)</td> <td>改修ドレン</td> <td>ムーブドレンキャップ 存置部: 防錆処理 (コーキング剤)</td> <td>【撤去】 改修ドレン 改修ドレン (山高タイプ) $\phi 100$ ストレーナ共</td> </tr> </tbody> </table>		記号	場所	現況	改修後	(A)	平場	ゴムアスファルト防水 シ-ム材-塗装仕上げ	【既存のまま】 平場 合成高分子系 μ -フィンクシート防水断熱工法 機械的固定工法 $t=1.5$ (非歩行)	(B)	ハバラット部 天端・立上り	ゴムアスファルト防水 シ-ム材-塗装仕上げ	【既存のまま】 ハバラット部 天端・立上り 合成高分子系 μ -フィンクシート防水断熱工法 機械的固定工法 $t=1.5$	(C)	点検蓋 高架列・PS	FRP防水	【撤去】 点検蓋 高架列・PS 水洗い後、下地処理 (ボリマーセメントペースト塗り) のうえ、 塗膜防水 (X-2)	(D)	高架列架台 足下鉄骨プレート	錆止め塗装	【既存のまま】 高架列架台 足下鉄骨プレート	(E)	シーリング	シーリング (MS-2) 15×10	【撤去】 シーリング シーリング (MS-2) 15×10	(G)	改修ドレン	ムーブドレンキャップ 存置部: 防錆処理 (コーキング剤)	【撤去】 改修ドレン 改修ドレン (山高タイプ) $\phi 100$ ストレーナ共
記号	場所	現況	改修後																												
(A)	平場	ゴムアスファルト防水 シ-ム材-塗装仕上げ	【既存のまま】 平場 合成高分子系 μ -フィンクシート防水断熱工法 機械的固定工法 $t=1.5$ (非歩行)																												
(B)	ハバラット部 天端・立上り	ゴムアスファルト防水 シ-ム材-塗装仕上げ	【既存のまま】 ハバラット部 天端・立上り 合成高分子系 μ -フィンクシート防水断熱工法 機械的固定工法 $t=1.5$																												
(C)	点検蓋 高架列・PS	FRP防水	【撤去】 点検蓋 高架列・PS 水洗い後、下地処理 (ボリマーセメントペースト塗り) のうえ、 塗膜防水 (X-2)																												
(D)	高架列架台 足下鉄骨プレート	錆止め塗装	【既存のまま】 高架列架台 足下鉄骨プレート																												
(E)	シーリング	シーリング (MS-2) 15×10	【撤去】 シーリング シーリング (MS-2) 15×10																												
(G)	改修ドレン	ムーブドレンキャップ 存置部: 防錆処理 (コーキング剤)	【撤去】 改修ドレン 改修ドレン (山高タイプ) $\phi 100$ ストレーナ共																												

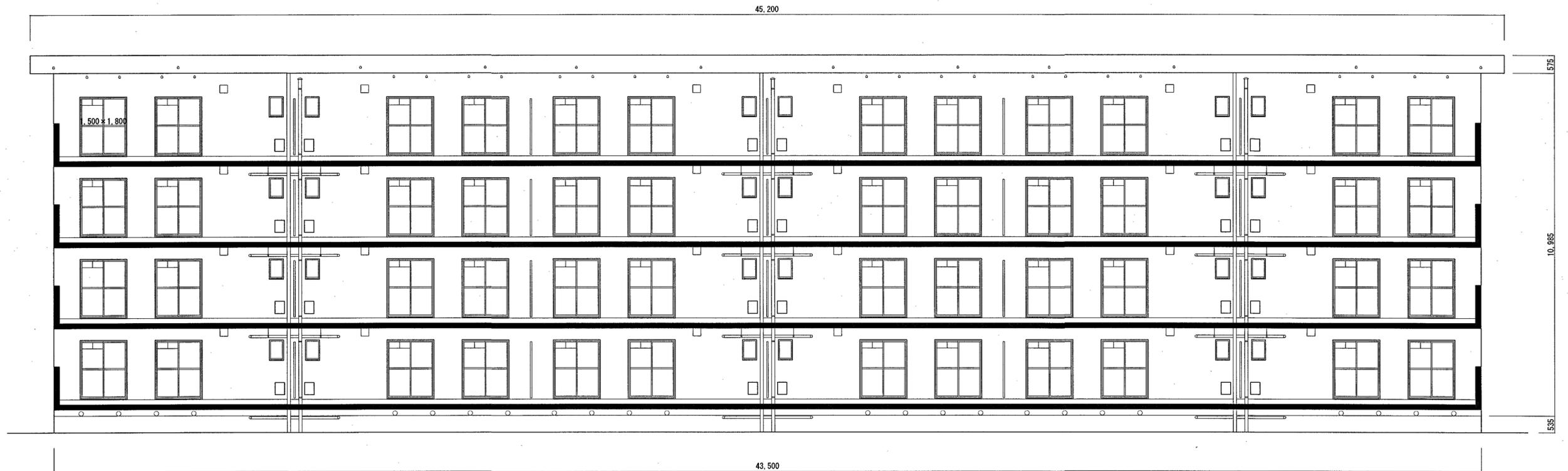
※7mm水切り寸法は、製造所仕様による。

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	長浜原沖南市営住宅1号棟屋上防水改修工事	係	鈴木	係長	菅岡	課長補佐	濱口	課長	松本	図面番号	A-05
図面名	屋上平面図・防水改修詳細図	縮尺	S=1/100・1/15		作図	年	月	日			



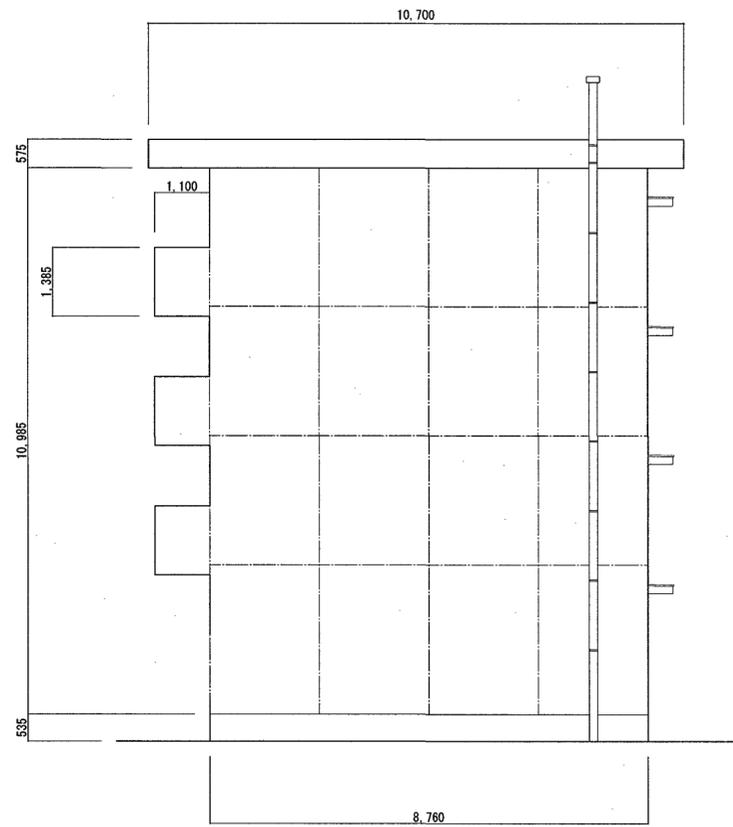
北立面図 S=1/100



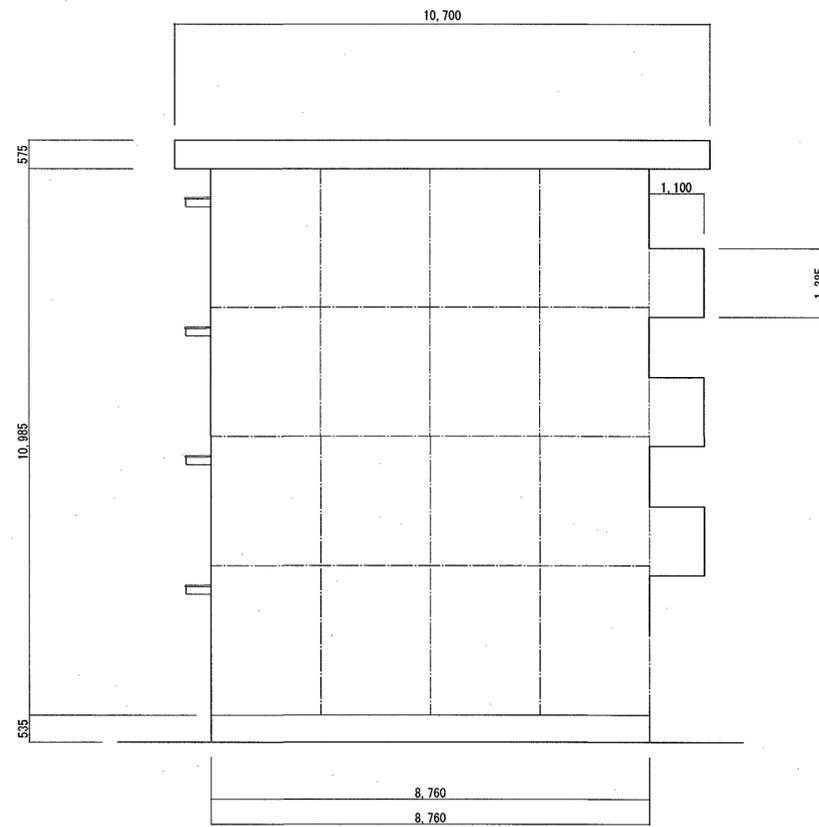
南立面図 S=1/100

参考図

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名		係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		長浜原沖南市営住宅1号棟屋上防水改修工事						A-06
		図面名	縮尺	作図	年	月	日	
		北・南立面図【参考図】		S=1/100				



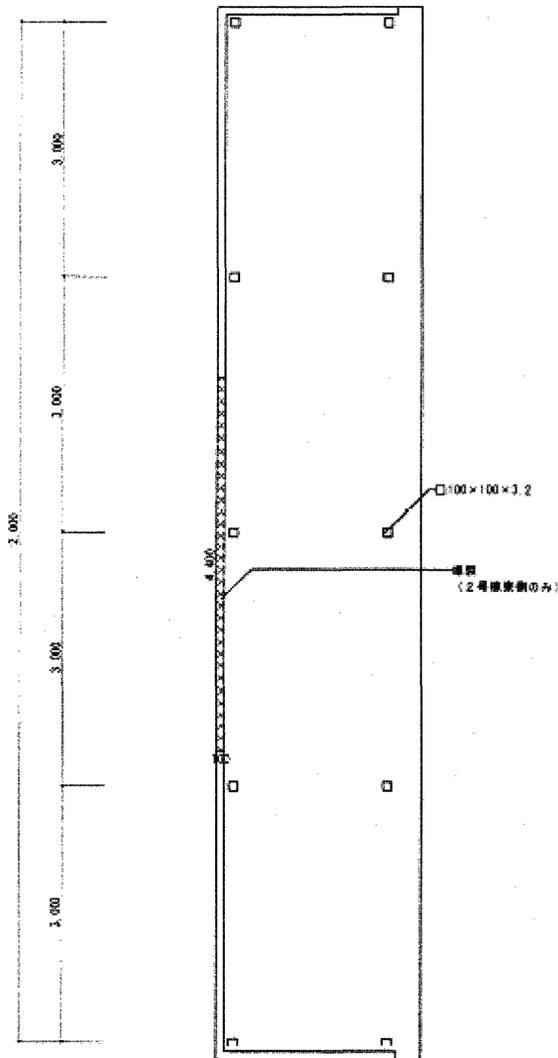
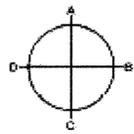
東立面図 S=1/100



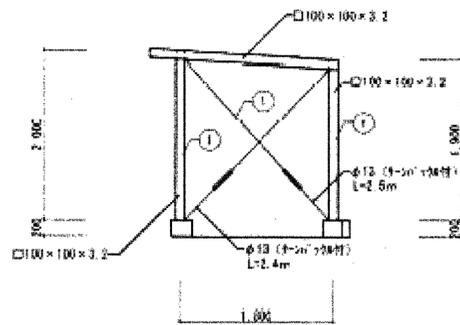
西立面図 S=1/100

参考図

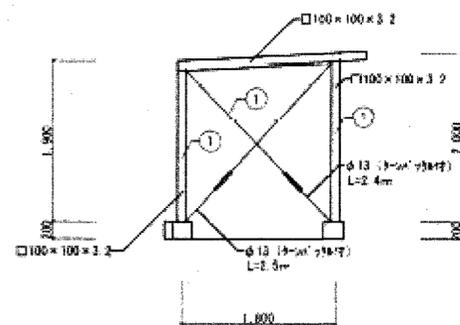
		高知市 都市建設部 公共建築課		工事名 長浜原沖南市営住宅1号棟屋上防水改修工事		係	係長	課長補佐	課長	図面番号 A-07	
				図面名 東・西立面図【参考図】		縮尺 S=1/100	作図		年	月	日



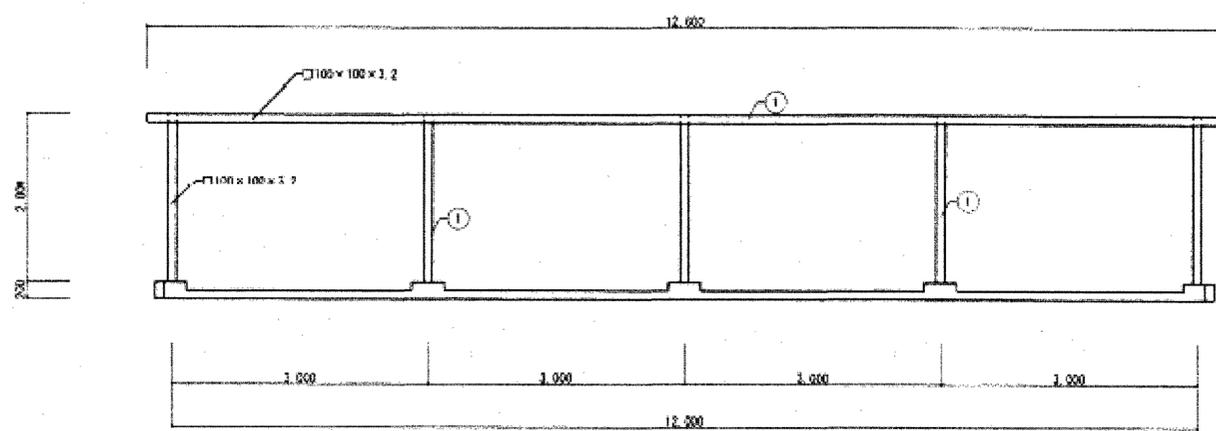
平面図 S=1:50



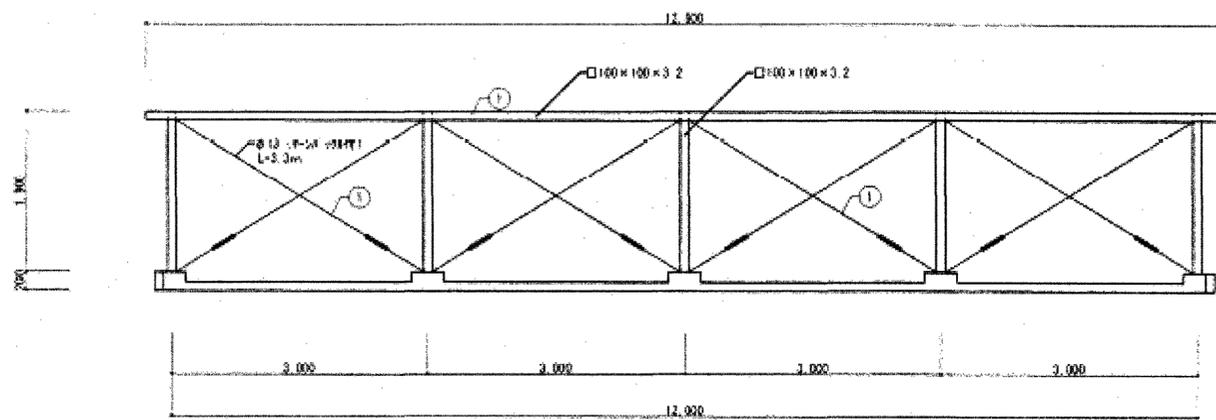
A 立面図 S=1:50



C 立面図 S=1:50



B 立面図 S=1:50

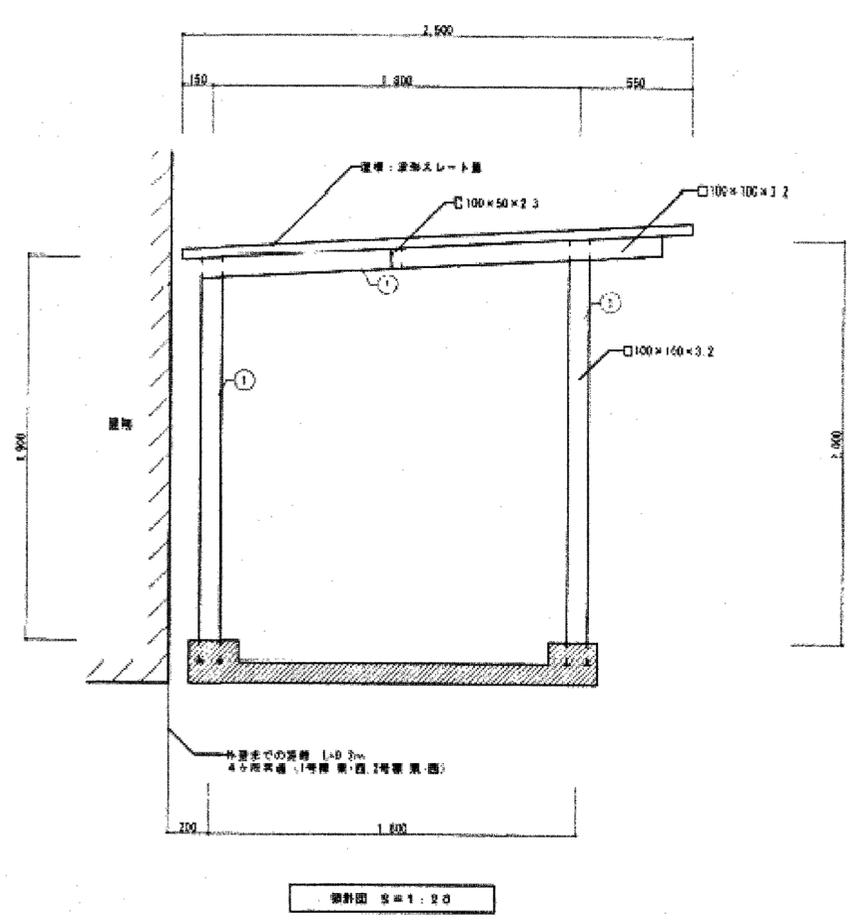
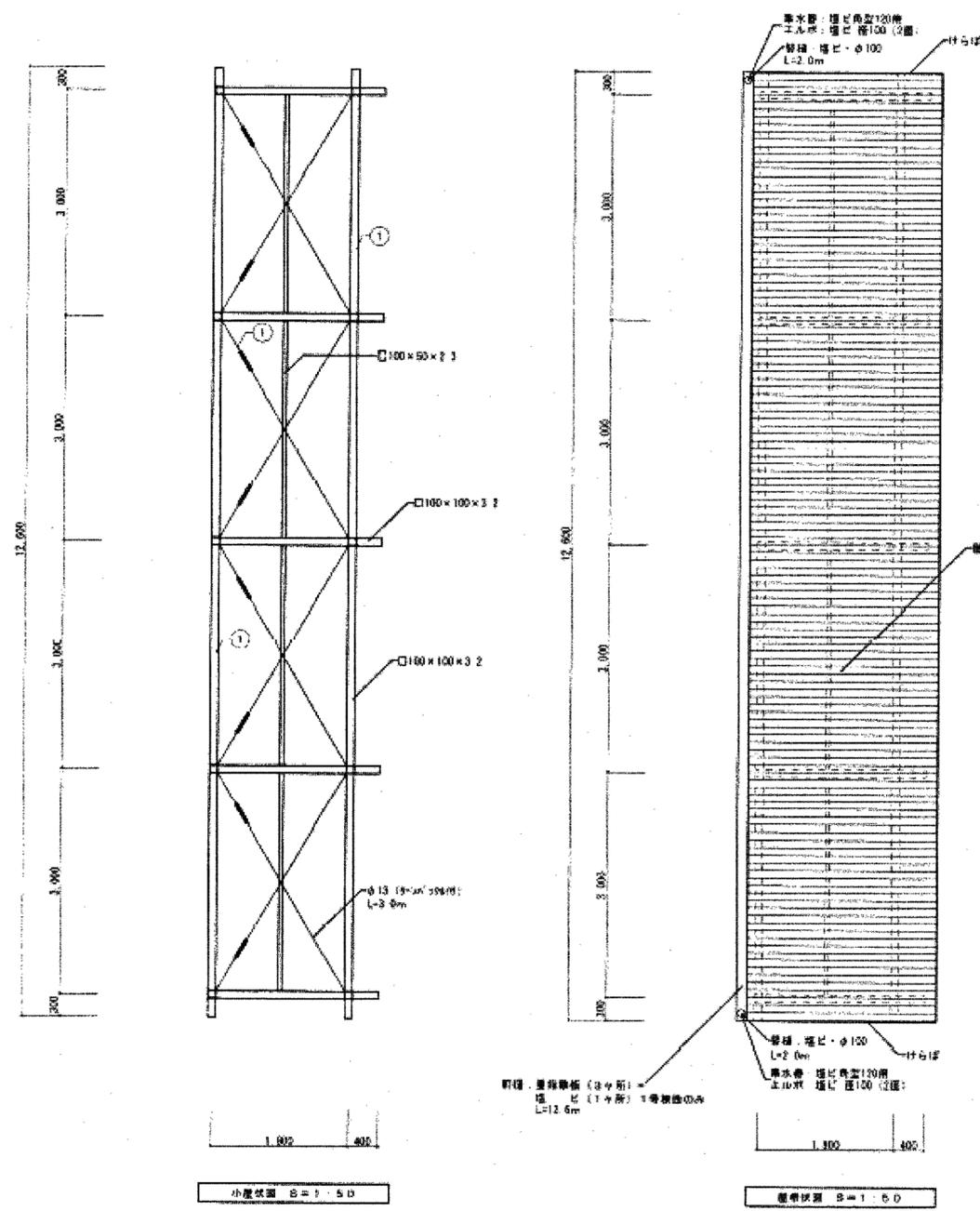


D 立面図 S=1:50

参考図

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名	長浜原沖南市営住宅1号棟屋上防水改修工事			係長	課長補佐	課長	図面番号
		図面名	自転車置場詳細図【参考図】		縮尺	作図	年	月	日

A-08



参考図

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名 長浜原沖南市営住宅1号棟屋上防水改修工事	係長	課長補佐	課長	図面番号 A-09
		図面名 自転車置場詳細図【参考図】	縮尺	作図	年 月 日	